

イー歯トープ 8020 歯と口のハテナ

県歯科医師会

17

歯周病の怖さ

千葉 雅之

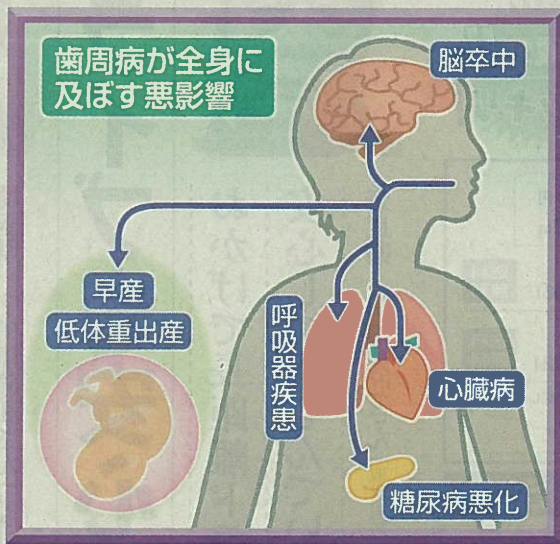


千葉 雅之(ちば・まさゆき) 1967年生まれ。岩手医大歯学部卒。県歯科医師会学術医療管理委員会委員。奥州市歯科医師会学術医療管理委員会常務理事。医療法人百成会ちば歯科医院(奥州市)院長。奥州市在住。同市出身。

「リンゴをかじると歯ぐきから血が出ませんか?」というテレビコマーシャルがありました。歯磨きをする際に、「歯肉から出血」するのが歯周病の典型的な特徴です。近年、歯周病は、「歯を失う怖い病気」であるばかりでなく、「全身の病気を悪化させる恐ろしい病気」であることが分かってきました。ではなぜ、歯周病は体の健康を脅かすのでしょうか。それは歯周病菌が血管内に入ると全身を駆けめぐり、免疫機能を低下させて、各細胞の元気を無くすことが原因のようです。

具体的には、①糖尿病が悪化する②心臓や脳の血管がつまりやすい③低体重児出産や早産になり

全身の病気に影響も



やすい④誤嚥性肺炎を起す。こしややすいなどの悪影響が知られています。すなわち、歯周病が原因で全身に悪い影響が及び、全身の病気をもたらし、命の危険にさらされてしまうこともあるので

す。では、歯周病菌を退治することはできるのでし

呼ばれる細菌の層を作り、共同住宅のように住み着きます。そこで、食後のブラッシングや歯間清掃、すなわちセルフケアが重要です。食後の食器を直ちに洗うように、歯ブラシで清掃した部分は、歯周病菌の数が減少するので

す。歯科医院においては、自分では掃除することが難しい部分の歯石やバイオフィルムを専門家が除去(プロフェッショナルケア)し、歯周病菌の活動を停止させて、歯周病の進行を遅らせることができます。上手にかかりつけの歯科医院を利用して、口から全身の健康を守りましょう。(水曜日に掲載します)